

SGめっきで約6倍の耐用年数

ハイグレードグレーチング

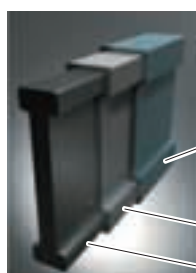
海に近い沿岸地域や融雪剤を使用する道路におすすめ*

※通常の溶融亜鉛めっきと比較して



ハイグレードグレーチングとは

鋼製グレーチングの表面処理として **SGめっき**を施した製品です。この処理によって通常の溶融亜鉛めっきと比べ、はるかに強い耐食性が得られ、海に近い沿岸地域や融雪剤を使用する道路など過酷な腐食環境での使用に最適です。



合金めっき
(亜鉛94% アルミ5%
マグネシウム1%)

溶解亜鉛めっき

SS400

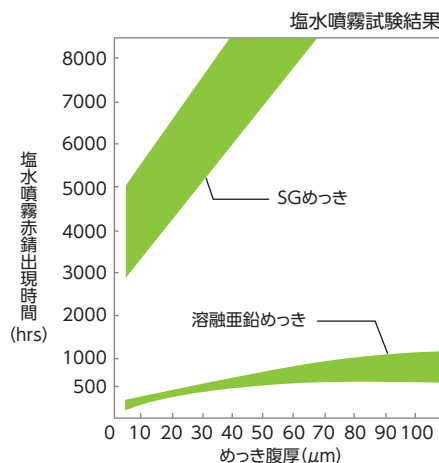
SGめっきとは

通常の溶融亜鉛めっきを施した後、さらに亜鉛を主成分に5%のアルミニウムと1%のマグネシウムを加えた合金によるめっきのことを「SGめっき」と呼んでいます。

特長
1

約6倍の耐用年数

通常の溶融亜鉛めっきの約6倍の耐用年数が得られます。
(塩水噴霧試験結果を参照)



特長
2

傷つきにくい

溶融亜鉛めっきのみの場合と比較して、SGめっきの被膜の硬度が高く、傷が付きにくいいため、なめらかで美しい外観が保てます。

特長
3

傷ついても

万が一傷などによりめっき被膜が損傷しても赤錆が発生しにくく品質を保てます。

めっき色調

めっき直後は銀白色の光沢があり、時間の経過に従い、無光沢の灰色となります。



塩水噴霧試験

塩水噴霧試験の結果、通常の溶融亜鉛めっき (80 μm) が500~1,000時間で赤錆が発生したのに対して、SGめっき (50 μm) は5,000時間経過後も赤錆の発生がありませんでした。

溶融亜鉛めっき						
	500時間	1,000時間	2,000時間	3,000時間	5,000時間	10,000時間
SGめっき						

二酸化硫黄試験

泉害および工場地帯の二酸化硫黄ガス、亜硫酸ガスによる腐食環境を想定した耐食性を調査する試験の結果、溶融亜鉛めっきは250~300時間で赤錆が発生したのに対して、SGめっきは400時間以上でした。



施工例

